平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名　山陽電気鉄道株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9052　URL　http://www.sanyo-railway.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 上門　一裕
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部マネージャー　(氏名) 荒木　素直　TEL 078-612-2032

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	11,537	△5.9	1,285	2.2	1,231	4.1	675	25.3
23年3月期第1四半期	12,257	△1.3	1,257	13.5	1,182	19.9	538	△0.3

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　569百万円　(34.4%)　23年3月期第1四半期　423百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.07	―
23年3月期第1四半期	4.84	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	91,893	26,227	28.2
23年3月期	92,733	25,880	27.6

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　25,919百万円　23年3月期　25,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	2.00	―	2.00	4.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		2.00	―	2.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,599	△6.3	1,568	△29.3	1,307	△35.9	784	△19.7	7.06
通期	46,061	△6.9	2,863	△33.0	2,266	△41.6	1,280	△9.0	11.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	111,652,992 株	23年3月期	111,652,992 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	448,442 株	23年3月期	447,215 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	111,204,999 株	23年3月期1Q	111,215,598 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料) P. 3 「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年３月に発生した東日本大震災の影響による個人消費の低迷や雇用情勢の悪化等により、景気全体としては、依然として厳しい状況のままに推移いたしました。

このような情勢のなかで、当社グループは収益力のさらなる強化に努めたほか、引き続き経費の削減にも取り組みました。

当第１四半期連結累計期間におきましては、外部顧客に対する営業収益は11,537百万円と前年同期に比べ719百万円（△5.9％）の減収となったものの、経費削減に努めた結果、営業利益は1,285百万円と前年同期に比べ27百万円（2.2％）の増益、経常利益は1,231百万円と前年同期に比べ48百万円（4.1％）の増益となり、四半期純利益は675百万円と前年同期に比べて136百万円（25.3％）の増益となりました。

①運輸業

運輸業におきましては、鉄道事業では沿線商業施設等とタイアップした企画乗車券などを販売いたしましたほか、観光旅客の掘り起こしをはかるため、本年５月に開催された「近畿・中国・四国Ｂ－１グランプリin姫路」のPR活動を積極的に行うなど、さらなる増収に努めました。施設面では、安全運行体制をさらに充実させるため、踏切支障報知装置設置工事や列車運行管理システム更新工事等を推進いたしましたほか、明石川～林崎松江海岸駅間での第２期明石市内連続立体交差事業において仮線路への切替工事を行いました。

自動車事業におきましては、一般路線バスおよび高速バス洲本線において、お客さまの利用動向にあわせたダイヤ改正を実施して利便性を向上させましたほか、お客さまの多種多様なご利用形態にお応えできるよう小型のバス車両を新たに導入するなど、送迎バス等の受注に努めました。

運輸業全体では、昨年10月１日の第二種鉄道事業廃止による影響や、東日本大震災の影響による景気低迷のための出控えの影響などにより、外部顧客に対する営業収益は4,528百万円と前年同期に比べ359百万円（△7.3％）の減収となり、営業利益は757百万円と前年同期に比べ84百万円（△10.0％）の減益となりました。

②流通業

流通業におきましては、山陽百貨店において「日本一生き生きとした百貨店」をめざし、食料品部門において引き続き新規店舗を導入いたしましたほか、集客力の高い催事を定期的に開催するなど、魅力的で賑わいのある店舗づくりを推進いたしました。また、継続して経費削減に取り組み、収支改善に努めました。

流通業全体では、サンヨーマートにおいて店舗閉鎖があったことや、食料品や生活雑貨等の売上が低調であったことから、外部顧客に対する営業収益は5,171百万円と前年同期に比べ363百万円（△6.6％）の減収となりましたが、経費の圧縮等により、営業利益は88百万円と前年同期に比べ19百万円（28.5％）の増益となりました。

③不動産業

不動産業のうち分譲事業におきましては、大阪府吹田市では「ザ・千里ガーデンズ」、大阪市東成区大今里地区では「ブランズ大今里南」の建設・販売を進めました。賃貸事業におきましては、収益基盤の一層の強化をはかるため、神戸市垂水区小束山地区において大型商業施設「コストコ」を誘致するなど、保有土地の有効活用に取り組みました。

不動産業全体では、昨年との分譲規模の差により、外部顧客に対する営業収益は743百万円と前年同期に比べ43百万円（△5.5％）の減収となりましたが、経費の圧縮等により、営業利益は333百万円と前年同期と比べ96百万円（40.7％）の増益となりました。

④レジャー・サービス業

レジャー・サービス業につきましては、須磨浦遊園において、昨年に引き続き春の行楽シーズンに夜間営業を行いました。また、姫路駅前地区において新たにファーストフード店をオープンさせるなど、さらなる収益拡大に努めました。

レジャー・サービス業全体では、外部顧客に対する営業収益は641百万円と前年同期に比べ17百万円（△2.6％）の減収となり、営業損失は３百万円（前年同期は営業利益21百万円）となりました。

⑤その他の事業

一般労働者派遣事業、設備の整備業などその他の事業におきましては、外部顧客に対する営業収益は452百万円と前年同期に比べて64百万円（16.5％）の増収となり、営業利益は70百万円と前年同期に比べ13百万円（24.8％）の増益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

第１四半期の総資産は、前期末に比べて840百万円減少し、91,893百万円となりました。また、純資産は前期末に比べて346百万円増加し、26,227百万円となり、自己資本比率は28.2％となりました。

増減の主な内訳は、資産の部では受取手形及び売掛金が769百万円、建物及び構築物が354百万円それぞれ減少し、また、建設仮勘定が195百万円増加しております。負債の部では流動負債のその他が882百万円、長期借入金が1,329百万円、退職給付引当金が406百万円それぞれ減少し、また、支払手形及び買掛金が565百万円、長期前受工事負担金が767百万円増加しております。純資産の部では、利益剰余金が452百万円増加しております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成23年５月13日に公表しました業績予想に変更はございません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,651	8,702
受取手形及び売掛金	2,596	1,827
有価証券	700	700
商品及び製品	980	1,053
分譲土地建物	5,113	5,340
繰延税金資産	248	282
その他	635	797
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	18,924	18,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,958	33,603
機械装置及び運搬具（純額）	4,146	3,994
土地	18,580	18,466
建設仮勘定	6,397	6,593
その他（純額）	770	799
有形固定資産合計	63,853	63,457
無形固定資産	334	376
投資その他の資産		
投資有価証券	2,980	2,729
長期貸付金	45	45
長期前払費用	5,186	5,113
繰延税金資産	251	335
その他	1,175	1,150
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	9,621	9,358
固定資産合計	73,809	73,193
資産合計	92,733	91,893

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,381	7,946
短期借入金	7,178	6,991
1年内償還予定の社債	6,000	6,000
未払法人税等	551	619
賞与引当金	86	253
役員賞与引当金	32	－
商品券等使用引当金	337	333
その他	7,968	7,085
流動負債合計	29,535	29,231
固定負債		
長期借入金	22,389	21,060
繰延税金負債	418	271
退職給付引当金	1,672	1,266
長期前受工事負担金	5,391	6,158
受入敷金保証金	6,208	6,121
その他	1,235	1,556
固定負債合計	37,317	36,434
負債合計	66,853	65,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,090	10,090
資本剰余金	6,850	6,850
利益剰余金	8,603	9,056
自己株式	△126	△126
株主資本合計	25,418	25,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175	48
その他の包括利益累計額合計	175	48
少数株主持分	287	308
純資産合計	25,880	26,227
負債純資産合計	92,733	91,893

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
営業収益	12,257	11,537
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	9,598	8,923
販売費及び一般管理費	1,400	1,329
営業費合計	10,999	10,252
営業利益	1,257	1,285
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	22	49
雑収入	132	117
営業外収益合計	158	170
営業外費用		
支払利息	175	163
持分法による投資損失	0	0
雑支出	57	60
営業外費用合計	233	224
経常利益	1,182	1,231
特別利益		
固定資産受贈益	1	1
固定資産売却益	－	0
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除却損	1	1
投資有価証券評価損	6	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	181	－
特別損失合計	189	3
税金等調整前四半期純利益	994	1,229
法人税、住民税及び事業税	429	589
法人税等調整額	19	△58
法人税等合計	449	531
少数株主損益調整前四半期純利益	545	697
少数株主利益	6	22
四半期純利益	538	675

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	545	697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	△127
四半期包括利益	423	569
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	417	548
少数株主に係る四半期包括利益	6	20

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（平成22年４月１日～平成22年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	4,887	5,535	787	659	388	12,257	－	12,257
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	109	25	101	13	383	633	△633	－
計	4,996	5,560	889	672	771	12,890	△633	12,257
セグメント利益	841	68	236	21	56	1,224	33	1,257

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去33百万円であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（平成23年４月１日～平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	4,528	5,171	743	641	452	11,537	－	11,537
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	107	34	200	13	454	809	△809	－
計	4,635	5,206	944	655	906	12,347	△809	11,537
セグメント利益又はセグメント損失（△）	757	88	333	△3	70	1,245	39	1,285

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去39百万円であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。